

重要取組シート

市民人権局 ダイバーシティ推進部
人権推進課

取組項目		戦後 80 年を契機とした取組の実施
現状・課題		○戦争経験者や被爆者の方々は戦後 80 年を経て高齢化が著しく、戦争の悲惨さを直接証言できる人が、この先更に少なくなることが懸念される。 ○市民の平和意識を持続的に高めるための基盤として、特に若い世代の平和意識を高める必要がある。
取組の内容		次の 2 つを柱とした取組を実施する。 ○市民への理解浸透 ・市ホームページに開設した特設サイトやダイバーシティ推進部公式 Instagram など SNS により、戦後 80 年の取組を発信 ・広報さかいに特集記事、連載記事を掲載 ・大規模商業施設での「平和と人権展」の開催 ・他団体（大阪府平和施設、スポーツ団体、堺市人権教育推進協議会（人権協）、平和活動団体等）と連携した平和啓発事業の実施 など ○次世代への継承 ・昨年度に引き続き羽衣国際大学との連携を行い、新たに応募のあった市民もあわせて、次世代の語り部育成を継続して実施 ・平和の大切さに対する意識を継承するため、小中学校等で講話を実施 など
スケジュール	前期 (～9 月)	☐ 平和と人権資料館 第 1 回企画展開催（4～6 月） ☐ 広報さかいに戦争体験者のコラム（連載記事）掲載（6 月～ 4 回程度） ☐ 広報さかい特集ページに平和に関する取組記事掲載（7 月） ☐ 人権協、平和活動団体と連携した映画祭、パネル展等の開催（7 月） ☐ 大阪府平和施設と連携した講話会の開催（7 月）、パネル展の開催（7～8 月） ☐ 平和と人権資料館 第 2 回企画展開催（7～9 月） ☐ 平和と人権展の開催（8 月） ☐ スポーツ団体と連携した平和学習会の開催（8 月） ☐ 北海道博物館が運営するオンライン企画「うちミュージアム」への平和と人権資料館の所蔵品掲載（7 月） ☐ 羽衣国際大学学生及び新たに応募のあった市民を第 2 期次世代の語り部として育成（4 月～9 月） ☐ 堺大空襲体験者の証言動画を市ホームページに掲載（8 月） ☐ ピースメッセンジャー、次世代の語り部の小中学校等への派遣（随時）
	後期 (～3 月)	☐ 第 2 期次世代の語り部の育成（～12 月） ☐ 第 3 期次世代の語り部募集（2 月） ☐ ピースメッセンジャー、次世代の語り部の小中学校等への派遣（随時）
	次年度以降	☐ 平和と人権展等の開催や人権協、平和活動団体と連携した事業の実施 ☐ 第 3 期次世代の語り部の育成 ☐ ピースメッセンジャー、次世代の語り部の小中学校等への派遣

進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	—		
	寄与する KPI	—	目標値（2025年度）	
			—	
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 16	平和と公正をすべての人に	
	寄与する KPI	—	目標値（2025年度）	
			—	